

平成 19 年度第 2 回富士見市上水道事業審議委員会 会 議 録

日 時 平成 20 年 2 月 8 日 (金) 午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時 00 分
場 所 市長公室

出席者

富士見市上水道事業審議委員会委員

梶委員 瀬戸口委員 津波委員 深井委員 渡邊 巖委員

吉原委員 吉川委員 清水委員 本間委員 米山委員 渡邊 須美子委員

事務局 < 水道課 >

関部長 松野副部長 土屋副課長 橋本副課長

金子主査 吉原主査 高野主査 新井主査 福島主査 利田

【議事内容】

・ 審議委員会会議

1 . 開会

2 . あいさつ 市長・会長より

3 . 会議録署名委員の指名について

1 号委員より瀬戸口幸子委員、2 号委員より本間廣子委員が指名される。

4 . 議題

(1) 平成 20 年度富士見市水道事業会計予算について

本件について事務局より説明がなされた後、次のような質問があった。

瀬戸口委員より：

現状の耐震化工事の進捗状況について

水谷浄水場擁壁の工事について

吉原委員より：

営業収益中の給水収益について

瀬戸口委員より：

加入金の 584 件の算定根拠について

新規の口径変更の割合について

使用料の少ない世帯に対する料金対応の検討について

料金改定の場合、どのような点に視点を置いて検討しているかについて

値上げするか否か

県水の値上げについて

渡邊 巖委員より：

10数年前(平成6年)の料金改定の際、加入金の収入を増やして料金に反映させることで、一時的に財源を確保してきた。現在加入金が当初の予定よりも伸び、富士見市の水道予算を支えている。県水の購入は、ダムの建設資金のためのシステム上の約束事であるため、地下水を増やすことはできない。

米山委員より：

検満の際の水道メーターの変更について

瀬戸口委員より：

検針業務の委託先について

ハンディターミナルを市が購入し、業者に渡すことは可能なのか。

ハガキなどの使用量のお知らせについて

吉原委員より：

県水・地下水それぞれの単価について

県水の点検記録について

県水と地下水それぞれの原価計算をすべきである。

無形固定資産の内容と表記の仕方について

5. 閉会 副会長よりあいさつ